
大湾区情報 No. 15

グレーターベイエリア情報 発行：2021年7月6日



「大湾区情報」では、日系企業の皆様に有用と考えられる最新情報をいくつかピックアップしお届けします。

【「GoGBA」ワンストップ・プラットフォームスタート 企業の大湾区内での発展を全面的に支援】



6月10日、香港の準政府機関、香港貿易発展局（HKTDC）は広東省と共同で「GoGBA ワンストップ・プラットフォーム」を正式に立ち上げました。このプラットフォームは、中国のSNSアプリ WeChat（微信）のミニプログラム（小程序）をメインプラットフォームとして使用し、香港及び海外の企業が大湾区内でチャンスをつかみ、マーケットを拡大するために、①情報②トレーニング、コンサルティング③アクティビティ、サポートプラットフォームといった3つの主要サービス分野を通じて、全面的なサポートを提供します。

GoGBA は広東省及び大湾区の各市政府や関連部門と協力し、マーケットに関する政策や情報のほか、優遇補助金及びビジネス支援など大湾区で重要な経済・貿易情報を発信していきます。また、その他にもヘルスケア情報、越境交通、地図、公共サービス、個人に関わる税金の情報など、越境するビジネスマンにとって出張時に役立つ情報のサービスツールとなっています。

また、GoGBA 以外に、HKTDC の深圳事務所に新たに「HKTDC 大湾区サービスセンター」を増設することも発表されました。香港の HKTDC 中小企業サービスセンターと連携し、中小企業が大湾区でビジネスを展開するための実践的な知識やスキルを取得できるよう、ビジネス情報の提供や相談窓口の設置、定期的な研修・交流活動を行っていきます。一方、HKTDC は、深圳（前海）、広州（南沙）、珠海（横琴）、東莞、中山などの大湾区都市と協力協定を結び、これらの都市に「GoGBA 香港ビジネスサービスステーション」を設置し、香港の中小企業が大湾区でのビジネスチャンスを探ることを支援していきます。

GoGBA の発表会では、香港や外資系企業の代表者が招かれ、香港というプラットフォームを通じて深圳や大湾区の都市に進出した際の成功体験を語りました。固形の食品廃棄物を有機性の廃水に変える食品廃棄物処理技術ソリューションを現地で提供しているカナダの ORCA 社は、「第 14 次 5 ヶ年計画では、食品廃棄物処理の発展についても言及されており、中国本土の市場が将来的に大きな可能性を秘めていることを示しています。香港では資本の流れが自由であるためここに地区本部を開設することは、資金調達の面で中国本土市場に参入するための理想的な足がかりとなります」と、アジア太平洋地域総経理のチョイ・ライミン氏は述べています。

Dailywin Watch（東莞得利鐘錶有限公司）総経理、ラウ・ヤン氏によると、同社は 1980 年代に東莞に工場を開設し、香港本部では輸出入の物流や会計関連業務を担い、設計・製造・販売は主に東莞で行っており、長年にわたり、独自のブランドを立ち上げ、常にイノベーションを推し進めてきました。新型肺炎の影響を受け、オンライン化と国内販売の拡大を主な開発戦略とし、国内の KOL（キ

ーオピニオンリーダー) と協力し商品をライブで紹介するなど、新しいソーシャルコマースの小売モデルを作り、中国本土市場の開拓に成功しています。

【「2022年 QS 世界大学ランキング」に大湾区の 14 大学がランクイン】



6月9日、世界4大大学ランキングの1つである2022年QS世界大学ランキング*が発表され、世界各国から1,300大学がランクインしました。そのうち、中国は92大学、そのうち大湾区内では、は広東省5校、香港7校、マカオ2校の計14校が選出されました。

詳細を紹介しますと、広東省の大学では、260位に中山大学（広州市）、275位に南方科技大学（深圳市）、407位に華南理工大学（広州市）、601～650位に深圳大学（深圳市）、751～800位に暨南大学（広州市）がランクインしています。

香港は、22位に香港大学、34位に香港科技大学、39位に香港中文大学が、マカオでは、マカオ大学が322位、マカオ科技大学が651～700位となっています。その中でも、華南理工大学、マカオ科技大学、南方科技大学、マカオ大学

などのランキングが大きく上昇しています。

中国全国で見た場合、本土の6つの大学が世界のトップ100に入っており、清華大学（北京市）が世界17位、アジアで3位と依然としてトップであり、北京大学（北京市）は昨年から5つ順位を上げて18位、アジアで4位となっています。また、復旦大学（上海市）、浙江大学（浙江省杭州市）、上海交通大学（上海市）、中国科学技術大学（安徽省合肥市）も世界トップ100に入っています。

*当ランキングは英国 Quacquarelli Symonds 社が、以下の6つの指標により評価している。

<https://www.topuniversities.com/>

学術関係者からの評判 40%、雇用者からの評判 10%、教員一人当たりの論文被引用数 20%、学生一人当たりの教員の比率 20%、海外学生人数 5%、海外教員の割合 5%

【広州中級人民裁判所、大湾区に司法改革・革新のリーディングゾーン構築のための意見を発表】



6月16日、広州裁判所によるビジネス環境の構築の保護について特別会議が開催され、5分野にわたる50の作業計画を含む「大湾区における司法改革と革新を牽引し、よりグローバルなビジネス環境の構築に対する司法サービスの提供および保護を行い、広州の更なる発展に関する広州中級人民裁判所の意見」（以下、「意見」）を発表しました。

今回の「意見」の発表により、広州市中級人民裁判所はビジネス環境における法の支配の強化を推進し、より競争力のある国際的なビジネス環境の構築を考えています。

司法改革イノベーションの最先端地区構築について初の言及

広州市中級人民裁判所党組書記兼院長の王勇氏は発表会見において、今回初めて言及された広州での最先端地区構築に至った主な理由について、広州市の裁判所の、裁判執行、司法改革、インテリジェント裁判所建設、チームビルディング

などの様々な面での優位性、 および、 中国初の「司法改革イノベーション研究実践（広州）基地」、 および「5G スマートコート」が広州中級裁判所でスタートした事など、イノベーションゾーンの建設に向けて、しっかりとした基盤を築き、豊富な経験を蓄積してきているという2点にあると述べています。

「意見」は、「4つの新」（新技術、新業態、新産業、新方式）経済の司法保護を推進し、競争とイノベーションの相互作用、知的財産権の厳格な保護と金融市場の法的ガバナンスの推進、土地、労働、資本、技術の各要素の司法保護を強化し、広州が中国全国、そしてさらに世界中のリソースを誘致できるようになるために全面的に取り組んでいます。

広州、スマート化、効率化により大湾区の破産再編センターを目指す

「意見」では、広州を大湾区における破産再編センターとして推進することを提案しています。広州中級裁判所では、システム化による破産手続きのサイクルの短縮、コストの削減を実現しており、それら破産更生手続きを積極的に推進し、債権回収率を高めており、今後もさらなる「スマート化」を進め処理レベルを向上させていくとされています。

また、裁判所、検察官、司法局、仲裁委員会などが、司法ブロックチェーンアライアンスを形成し、データの相互承認による司法の全体的な効率向上を目指します。司法の分野にてより多くの「広州スタンダード」の導入に焦点を当て、知る権利、参加権、監督権の保護の強化、司法開示の標準化と情報化を進め、開示システムの従来的一方通行から多方向への情報相互変換を促進し、司法活動と訴訟結果をより公正、透明、予測可能にします。

大湾区における司法協力のためのプラットフォームの構築を推進

「意見」では、海外関連案件にふさわしい管轄制度を構築し、中国の法律を厳格に遵守し、司法権を維持すると同時に、中国と海外のマーケット関係者に普遍的で平等な司法サービスを提供することに重点を置いています。

国境を越えた司法サービス支援を実現させるため、広東、香港、マカオの弁護士事務所と協力をし外国法とその適用方法の調査を行い、国家トップレベルの「外国法調査プラットフォーム」構築を推進しています。また、国際訴訟への影響力と信頼性を高めることに重点を置き、中国の民事訴訟の基本原則に基づき「一带一路」建設関連案件における専門の合議制裁判所の設置を目指し、「専門家証人」や「陳述の真実性」等の国境を越えた訴訟ルールのコンバージェンスの調査、推進を行います。

また、広州市南沙での国境を越えた商業紛争解決センターの設立、香港、マカオ、台湾が関与する国際訴訟の窓口の開設、大湾区における司法協力のための公共プラットフォームの設立、深圳との訴訟サービスのメカニズムの共同構築推進、香港・マカオの司法関係者、弁護士、専門家、学者との交流・セミナー実施、「広州司法シンクタンク」における国際ビジネスに対応する司法人材の招致、育成などについても述べられています。

【参考資料】

- [HKTDCの「GoGBA」ワンストップ・プラットフォーム本日スタート：三大サービスで香港企業の大湾区ビジネスチャンス開拓を全面サポート](#)
- [「QS世界大学ランキング」に大湾区の14大学がランクイン](#)
- [広州中級人民裁判所 大湾区に司法改革・革新のリーディングゾーン構築の意見を発表](#)